

○対称な図形 第4時 教科書P.13 (解答編)

学習を始める前の準備と注意です。

- ・教科書P.13を開いて学習を進めます。
- ・この学習プリントは、1枚目をやるときは、2枚目を見ずに学習を進めます。
- ・三角定規とコンパスを使うので、準備しましょう。

ここから学習スタート! では、問題です。

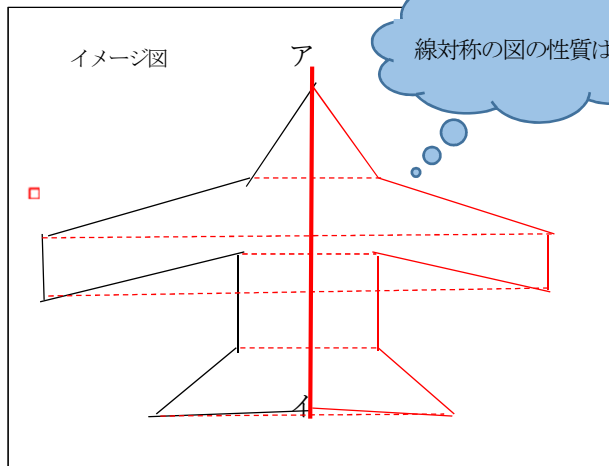
4 これまで学習したことをいかして線対称な図形をかきましょう。

(1) 右の図で、直線アイが対称の軸になるように、線対称の図形をかきましょう。

(※教科書P.13の方眼紙に作図する。)

かき方を考えよう!

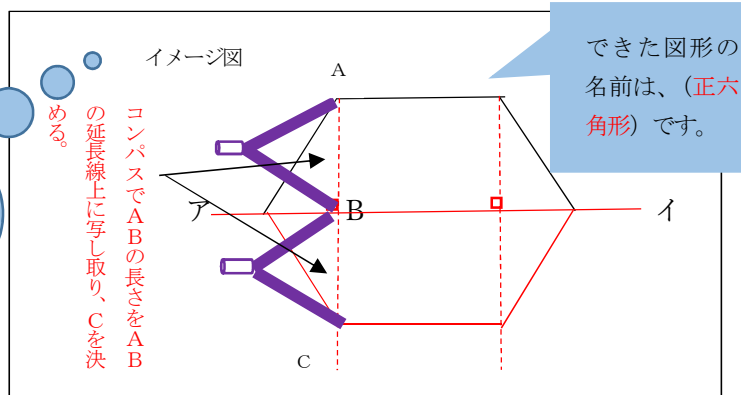
- ①まず、どんな形になるのか予想しよう。
- ②どこの点と対応する点を考えれば、線対称の図になるだろう。
- ③方眼をうまく利用すれば…。



(2) 今度は、三角定規とコンパスを使って、直線アイが対称の軸になる線対称な図形をかいてみよう。

(※教科書P.13に作図する。)

今度は方眼がないぞ。コンパスって何に使うんだろう。円をかくわけではないし…。



(1)、(2)の経験から、対称な図形のかきかたをまとめてみよう。この手順は、何度も練習しながらマスターしよう。

まとめ

- ① 頂点から(**対称**)の軸に、三角定規を使って(**垂直**)な直線を引く。
- ② ①の直線を、対称の軸の反対側向かって、だいたい(**対応**)する点がきそうな位置まで伸ばす。
- ③ 頂点と対称の軸の上の交わった点の間の直線の長さを、(**コンパス**)をあてとる。
- ④ コンパスでとった長さが動かないように気を付けて、対称の軸の上の交わった点にコンパスの針を刺し、②で伸ばした直線の上で交わるように、コンパスで弧(こ)をかき、②の直線と(**交わる**)点を見つける。このとき交わった点が、(**対応**)する点になる。
- ⑤ ①～④をそれぞれ必要な頂点ごとに行い、見つけた対応する点を結べば、(**線対称**)な図形がかける。

■練習問題

下の直線アイを対称の軸とする線対称な図形を作図してみよう。(自由な図形に作図してよい。)

